横芝光町の石仏展

野仏のささやき

横芝光町教育委員会
横芝光町歴史ロマン研究会

調査風景

例言

本書は、平成二十八年十月八日から十二月十八日まで、横芝光町民ギャラリーで開催の企画展「横芝光町の石仏―野仏のささやき―」の図録である。

また、図録であるとともに、平成十五年から調査してきた石仏調査の成果でもある。

石仏調査は、当初合併前の旧光町の生涯学習講座「ふるさと発見」で始め、平成十八年、横芝光町として合併を経て、歴史ロマン研究会に引き継がれ、合併町内全域を対象とした。調査は石仏一基ずつカードを作成、台帳化して、それをもとにまとめたのが、同書後半の表である。

表をまとめるに当たっては、現研究会西山太郎会長を中心にして台帳を精査・整理し、それを事務局の社会文化課員道澤明が表化し、図録を編集した。文責は道澤に帰す。

写真の番号と表の番号とを一致させ、特に形態の凡例は記さなかったので、照合して確認していただきたい。

年代は、上に年号で、下に西暦年を記した。

銘文等は、枠内に入る限り記したが、記しきれないものは省いた。ご了承願いたい。

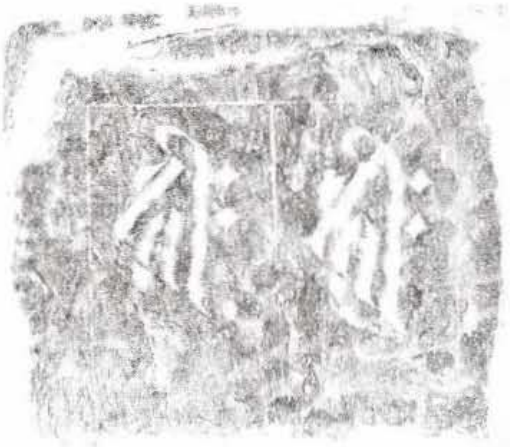
法量については、高さ×幅×厚さであるが、形態によって計測箇所のずれがあり、また調査者によって異なった場合もある。

所在地は、分かる範囲で現地籍を記した。

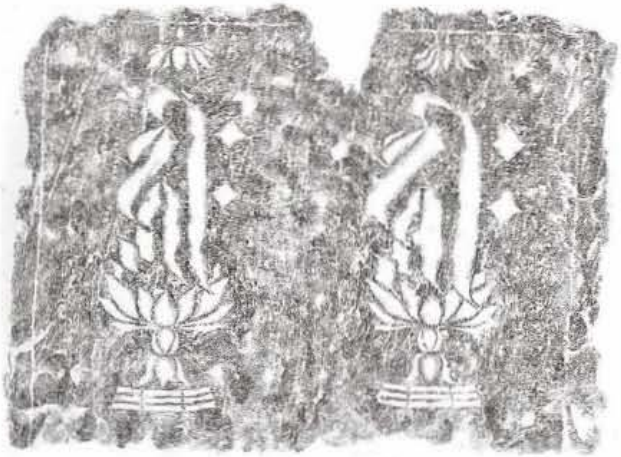
そのほか、石仏が寺社内にある場合には、それを記した。

中世石塔①

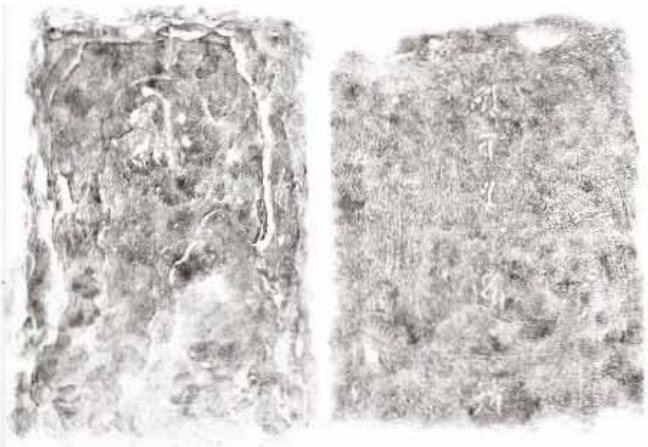
22 小川台隆台寺板碑



18 宝米明光院板碑



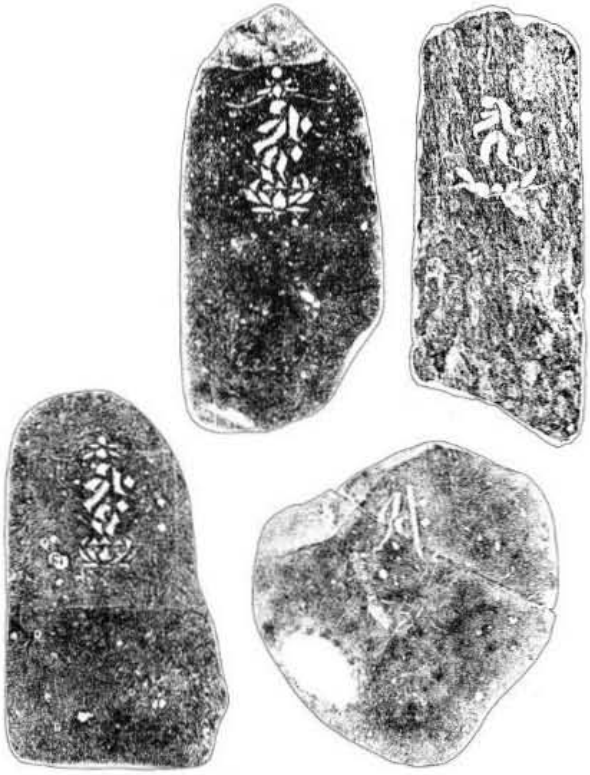
17 新井路傍板碑



14・15 二又長福寺板碑

中世石塔②

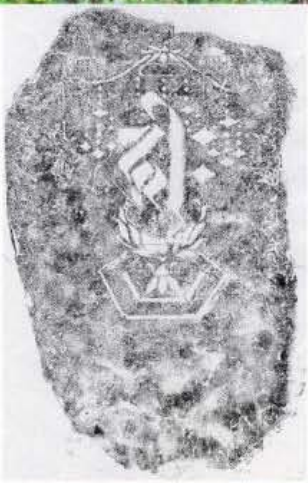
24～26 台宗龍寺板碑



4～13 篠本城跡出土板碑

38 坂田城跡板碑

35 谷台安養院板碑

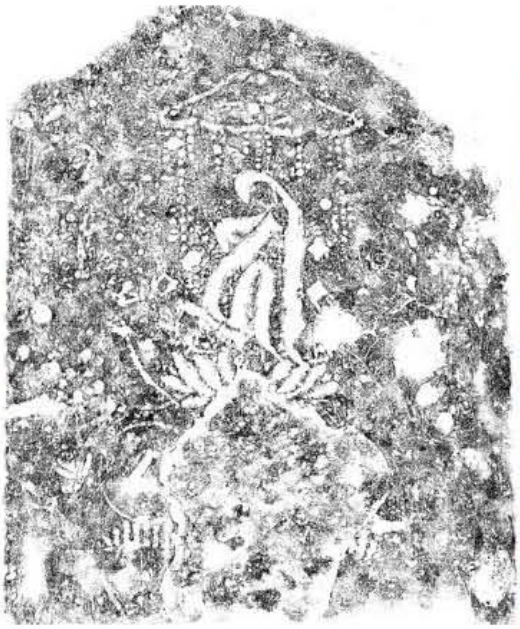


39・40 於幾粟島宮板碑

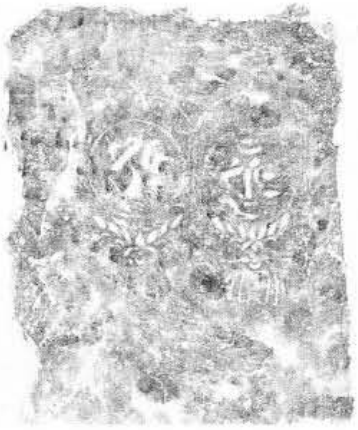
37 長倉長勝寺板碑

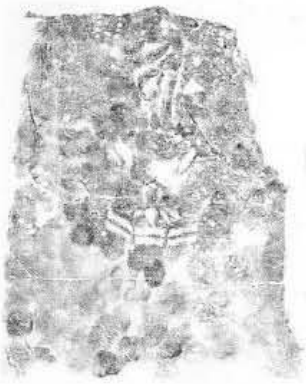
36 牛熊八幡神社板碑

20 虫生星宮神社
板碑



19 虫生路傍板碑





27・28 芝崎西蓮寺板碑

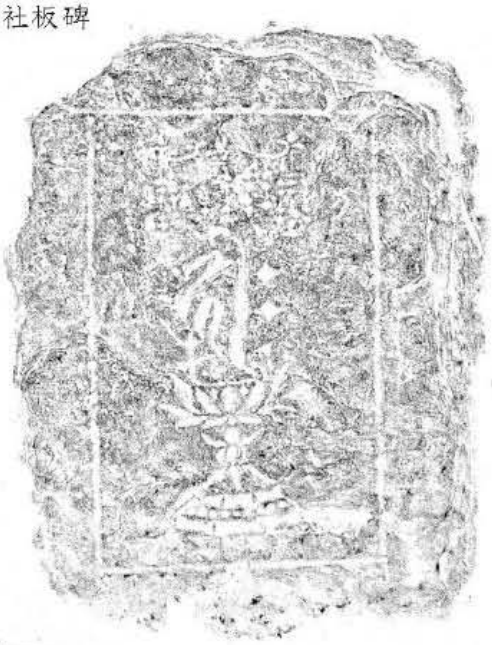
30～32 芝崎西蓮寺本堂下板碑

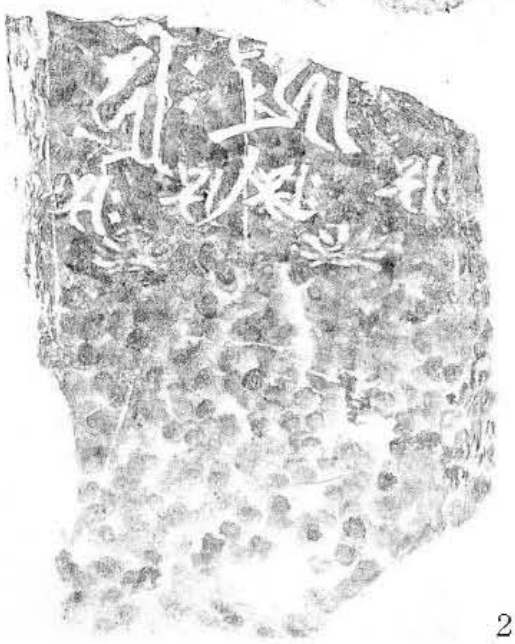
芝崎西蓮寺本堂の下から出た板碑群

41 宮内永享寺板碑

42 上原八幡神社板碑

43 白磯不動院板碑





2 篠本新善光寺の墓碑転用板碑

45 篠本城跡出土の宝篋印塔

44 篠本城跡出土の五輪塔

二又三福寺裏墓地の五輪塔

46 二又長勝寺山門の中世石塔群

49 目篠豊受神社裏の中世石塔群

左石塔群の中の板碑

寺方稲荷神社下の五輪塔と宝篋印塔

48 古屋折原庚申塔前の中世石塔群

庚申塔①

38 於幾粟島宮前

10 傍示戸中島橋脇

36 坂田坂田城坂下

26 中台大宮神社前

47 西高野

80 白磯正光院前

27 木戸台入口

9 宝米船戸台

34 取立

43 東町橋脇

74 尾垂新隆寺前

33 長倉宮前

4 二又字鴻ノ巣

庚申塔②

14 台宗龍寺

7 新井万福寺前

17母子

44 宮川字尻川田

58 上原字八幡

50～53 谷中字道端

庚申塔③

89 木戸字二十五割

70 木戸字六十四割（長塚）

95 栗山字庚申塚

40 横芝字真砂

102 屋形四社神社前

105 屋形字宮前

108～113 新島字新田二社神社前

100 北清水字宮脇清水神社前

46 宮内浅間神社前

55 谷中金刀比羅神社前

庚申塔④

47 古屋折原

2 篠本二区

93 木戸字関

38 小堤上滝の下

83 白磯不動院前

78 白磯高谷

76 白磯高谷

24 谷台稲荷神社前

104 屋形三本松

54 谷中上ノ村前

十九夜塔①

6・7 篠本向田

3～5 篠本向田

1 篠本鍛冶屋谷

25 芝崎大芦場

21 小川台隆台寺

14 宝米五木田

10 新井万福寺

48・49 谷中薬師堂前

18・19 虫生迎山

54 目篠塔ノ下

59 長塚

24 小田部狐塚

50 入源蔵田

53 作間内

十九夜塔②

47 谷中堀ノ内

67 白磯不動院前

65 白磯正光院前

61・62 尾垂三軒屋

27～29 中台円福寺山門

26 中台橋戸

80 屋形三本松

41 上町

38 寺方真珠院

33 遠山萬福寺

35 長倉恵光院

82 新島薬王寺前

81 新島本郷光音寺前

77・78 北清水大杉神社

79 屋形目篠後

二十三夜塔

5・6 傍示戸成就院

7 台宗龍寺

4 宝米西徳寺

2 二又田仲

25 屋形目篠

12・13 古川古里

16 谷中高田

29・30 屋形南川岸

27・28 屋形立合

地蔵菩薩①

15 台宗龍寺

2 二又長福寺

1 篠本新善光寺

40 宮川放光院

42 古屋天王

44 谷中上の村前

56 白磯不動院前

新井万福寺

12 虫生鬼堂

17 中台円福寺山門

地蔵菩薩②

36 古川古里

8 谷台山上墓地の万霊塔

27 長倉入

69 屋形無量寺

屋形立合

24 小堤東福寺

2 市野原観音堂

6 中台上原

9 木戸台増福寺

馬頭観音

10 長倉大部田

5 牛熊浅田

4 芝崎海蔵

13 宮川浅間

3 富下

25 北清水延命寺

26 屋形三本松

子安観音・子安大明神

小田部西運寺

5 小川台柳内

3 傍示戸宮門

2 新井萬福寺前

古川四社神社前

両国新田

7 芝崎上の台

6 芝崎上の台

鳥喰上

9 白磯高谷

8 古屋天王

本町観音寺裏

6 小田部西運寺前の六観音(左から十一面、聖、馬頭、十一面、聖、如意輪観音)

16 長塚宝満寺の
不動明王

17 長塚の不動明王

谷中薬師堂前の
十一面観音

15 宮川本郷の
阿弥陀如来

10 牛熊薬王院前の
大師

姥山三十三観音の
内の11番白衣観音

9 牛熊薬王院の
十五夜塔

11 牛熊薬王院裏の
六地蔵を刻む石幢

その他石像物

2 新井万福寺前の犬供養碑

小川台入定塚の五輪塔

新井万福寺の宝篋印塔

3 新井万福寺墓地の閻魔

3 宝米西徳寺裏の足尾山塔

8・9 屋形南川岸の龍神祠塔

2 新井馬場の稲荷大明神

宝米弁天池前の弁財天石祠

中台の出征馬記念碑

本町の道路元標

宮川玉崎神社の手洗石

7 芝崎上の台の道標

4 新井船戸の道標

町原の出羽三山塔

はじめに

横芝光町は、鎌倉から室町時代にかけての中世城郭や、今日も残る社寺などの中世遺跡が各地に点在し、地域の国人領主を初めとする武士団や土豪塔の人々が盛んに活動していた事が推測される。江戸時代になると江戸に近い事から徳川譜代衆の治める所となり、新田開発が進んで多くの農民が住んだ。そのため町内各地に社寺とは別の土俗的な信仰から様々な石仏が残され、各集落の要所要所の道脇に立っている。町内ではこの多数ある石仏をこれまでに調査された事がなく、どのような石仏がどのような所に在るか、実態は全く分からなかった。そこで歴史研究の生涯学習講座で石仏調査をしようと言う事で、始まったのがもう十年以上前である。

石仏調査は、光町と横芝町が合併し、講座が研究会へと変わった後も続けられ、当初の光町のみから横芝光町へと対象範囲が広げられ、調査するメンバーも広がったが、十年以上と言う長い年月の間に、当初いた方が一人減り二人減りし、ある方は鬼籍に入られたりして、その長さを改めて感じる。しかし、長い調査の結果、横芝光町の石仏のあり方が分かり、その成果を速く公開したいと言う願いの中、ただ単に報告書と言う紙面のみによらず、より視覚的、実際的に発表すると言う機会を得る事によって、調査に携わった多くの町民の苦労が報われる事と思います。

長倉の馬頭観音

目次

写真
中世石塔 1
庚申塔 7
十九夜塔 11
二十三夜塔 13
地蔵菩薩 14
馬頭観音 16
子安観音・子安大明神 17
その他仏像 18
その他石像物 19
石仏分布地図 20
はじめに 21
一 横芝光町の石仏の概要 22
二 中世石塔 22
三 庚申塔 23
四 十九夜塔 23
五 二十三夜塔・念仏塔 23
六 地蔵菩薩塔 23
七 馬頭観音塔 23
八 その他仏像塔 24
九 その他石像物 24
十 石仏調査資料（表） 25
おわりに 70

一．横芝光町の石仏

石仏とはその字の如く石で作られた仏様であり、それは路傍や墓地、寺院などに、人々が往来する所や生き死に、信仰の場などに関係する所の、主に露天に建てられた石造物である。その中には仏様だけでなく石祠や神像、記念碑などもあり、それらを含めると石造物と呼んだほうが適当であろう。

日本での石造物の初源は、縄文時代の石棒を例に見るように古く、古墳時代では古墳に石人が建てられ、奈良時代には記念碑が建てられた。平安時代になると仏塔が石で建てられはじめ、鎌倉時代には五輪塔のほか、板碑が考案され、関東をはじめ全国で造立された。江戸時代になって、板碑に代わって供養塔として様々な石造仏像が造られるようになり、今日あるような石仏が各地に立っている。明治時代以降は、交通の発達に伴って、各地に旅行する事が流行り、各地聖地に巡拝した記念碑が盛んに建てられ、さらに四国八十八箇所や西国三十三観音をうつして造った所もある。最近でも交通事故者の供養として建てた地蔵がある。

横芝光町にはこれらの石造物が、十年以上の調査の結果、多数存在することが明らかになった。その筆頭は庚申塔で、各集落にほぼ必ずといっていいほどあり、それに対する信仰の普及ぶりと、それを造立する流行(勢い)と財力はたいしたものである。そのほか十九夜塔や馬頭観音、六地蔵など、決して特異でない石仏も多数分布し、それにも増して墓地には、石仏を彫った墓石が数え切れないほど在り、この地域が石造物の宝庫であることが分る。

ここに紹介する石仏は、紙数の関係から、数多くある町内の石仏の中で、中世石塔を別にして、基本的には主に仏像などを彫った像容塔で、公共的、例えば講中か村中造立のもの取り上げ、個人墓石、記念碑、文字塔、石祠は除く事とした。それでも四百基を超え、調査した対象は千基を上回る。これに江戸期の墓石や石祠を加えると一万基ははるかに超えよう。千葉県は山が無く、石には乏しい県であるが、これは驚異と言っていいのではないか。それでは横芝光町の石仏の各種について解説し、個々について表で記載した。

二　中世石塔

中世石塔には像容塔は無く、主に板碑と五輪塔、宝篋印塔で構成される。板碑は鎌倉時代、武蔵国でその北部山地で産する緑泥片岩を石材にして塔婆を造ったのを初めとする。下総国では古墳の石室に使われていた黒雲母片岩(筑波石)を引き抜いて板碑に加工したものが多く、緑泥片岩製を武蔵型というのに対し、黒雲母片岩製の方形の板碑を下総型と言う。このほか町内からはシルト岩製の扁平丸石(飯岡石)を石材とした自然石板碑、砂岩製の山形無種子の板碑がある。自然石板碑は東北で類例があるが、砂岩製は他に類例が無く、銚子産砂岩で、無種子は多分墨書きであったろうと思われ、仮称東総型とする。

板碑の殆んどは梵字を中心に彫った種子板碑で、他に五輪塔板碑、題目板碑が各一基ずつある。種子の殆んどは阿弥陀如来のキリークである。また、種子を二字並べて彫った双式板碑が下総型にある。大きさは最大で高さ一二〇cm、最小二五cmで、大きいものの殆んどは現在も立っているが、中には寺社の礎石や踏み石になっているものもある。

下総型

武蔵型

自然石

仮東総型

五輪塔は、密教で言うところの五元素(空・風・火・水・地)を塔で表わし、上から宝珠形の空輪、半月形の風輪、三角形の火輪、丸い水輪、四角形の地輪を合わせて五輪塔と言う。宝篋印塔は、宝篋印陀羅尼経を納めた塔で、上から相輪・笠・塔身・基礎が重なって塔を成す。中世のものは笠の隅飾突起があるが、江戸時代ではなくなる。これらの塔は篠本城跡から多く出土しているほか、町内各地に点在している。

三　庚申塔

道教では干支の内で庚申の日の夜、眠っている間に体から三尸の虫が出て、閻魔大王に悪事を報告するという考えがある。それを防ぐため、村中で庚申の日に集まって夜通し眠らずに過ごす庚申講が行われる。この庚申講を庚申の年にした時の記念として建てたのが庚申塔である。庚申塔は室町時代から五輪塔形で建て始めたとされ、江戸時代になると青面金剛の像を彫った像容塔が建てられる様になる。町内にある庚申塔は総て江戸時代以降のもので、最も新しいのは大正四年造立である。江戸時代のものの多くは像容塔であるが、明治以降は文字塔が多くなる。塔の形態では、角柱形に笠を有するものがあり、また頭部が山形の駒形、頭部が丸い櫛形、頭部が尖る船形などの本体に、青面金剛を浮き彫りし、本体下に三猿を彫った台座がつくものがある。他に石祠形、自然石文字塔などがある。青面金剛では、髪の毛を逆立て憤怒の形相のものと、鎧兜を身に着けた様なものとの大きく二類形に分られ、時期的な差ではなく、おそらく石工の違いと思われる。町内の庚申塔の多くは一基立ちであるが、中には一箇所に複数基、最大六基並んで立っている所があるが、必ずしも元所であるわけでなく、他から移転して集められた所もある。

四　十九夜塔

十九夜塔は月待塔の一つで、主に女性が十九日の夜集まって開く念仏講で、それを記念して建てたものである。女性が主体となる念仏講であることから、安産、育児、女性病平癒を祈願することとされるが、町内にある十九夜塔の多くは、水辺の近くに立っている。このことは水子供養があったことを想像される。町内にある十九夜塔の殆んどは片膝を立て、頬杖を付いた姿の如意輪観音座像を、船形の本体に浮き彫りしたり丸彫したものである。この形の石仏には女性の墓塔も多く、その違いは十九夜講中か戒名かを添え書きしているかであり、また、立っている所が路傍か墓地かであるが、お寺周辺にある場合は注意を要する。町内では八十四基を確認し、庚申塔に次いで多い。

五　二十三夜塔・念仏塔

二十三夜塔も月待塔の一つで、二十三夜の日に集まって飲食する講を記念して建てたものである。二十三夜講もその主体は女性であると言われ、飲食の前に念仏を唱えることから念仏講でもあると言える。町内の二十三夜塔は勢至菩薩像を彫ったもののほか、二十三夜と彫った文字塔もあり、また、地蔵菩薩像を彫った念仏塔もあり、中には両者が合い並んで立っているところもあり、ここでは一緒に取り上げた。町内では三十基ほどを確認したぐらいで、決して多くない。

六　地蔵菩薩塔

地蔵菩薩は閻魔王の本地仏で、常に六道を巡って衆生を救済し、極楽へ導く菩薩であると言う。平安時代末の末法思想の広まりと共に信仰が盛んになり、鎌倉時代には板碑に地蔵菩薩を刻んだ図像板碑が造られた。地蔵菩薩の像が多く造られるようになるのは江戸時代で、主に念仏供養としてお寺や墓地周辺に建てられた。そのため墓塔としても多数ある。ここでは墓塔以外の地蔵菩薩塔を扱い、主に寺門前に立つ六地蔵を取り上げる。また、墓地の前には地蔵菩薩塔一基が立っている場合があり、これには三界万霊と刻まれ、万霊塔であることが分かり、この塔に生き物すべての霊を宿らせ、この塔を回向することによって、万霊を供養するために建てられた。

七　馬頭観音塔

馬頭観音は、その名の如く頭に馬の頭を載せた観音であるが、観音の面は憤怒の相を見せ、馬の如く疾駆し、魔物を打ち破ったり衆生を救済し、煩悩を馬食の如く食い尽くすと言われる。江戸時代の東国では馬を荷物の運搬に使われただけでなく、農耕にも多く使われ、馬を供養するために馬頭観音塔が多数造立された。

町内の馬頭観音塔の多くは、馬にまたがった馬乗り馬頭観音の像容で、主に街道筋に立っていることが多い。これはやはり荷駄馬として使われた馬を供養されたものと思われる。町内では三十基が確認され、江戸時代のものは像容が彫られ、大きさは高さ六十㎝以下の小さいものが多いのに対し、明治以降は文字塔になって大きくなっているものがある。町内中台には馬に関連した石塔として、明治三十年銘の小さな出征馬記念碑があり、その当時はまだ馬を大切に養っていたことが推測される。

八　子安観音・子安大明神塔

子安観音・子安大明神は、本来同一の神仏で、どちらかと言うと子安観音で、明治の神仏分離令で両者に分かれた。子安観音は安産、子育て祈願の信仰で造られ、その像は女身で胸に子供を抱いていたり、乳を飲ませている姿で彫られている。子安観音を信仰する講は、今でも町内で行われている所があり、その信仰の根強さがある。

町内の子安観音は多くあるが、像容石造は十基確認され、多くは小祠に子安大明神が祀られているか、石祠が建てられている場合が多い。また、子安神社も数社ある。

九　その他の石塔

そのほかに町内では数が少なくなるが、様々な石塔が確認されている。仏教系では小田部西運寺前には六観音があり、芝崎海老川の観音と合わせて七観音とも呼ばれている。宮川本郷には阿弥陀如来立像があり、ここにはもとお寺があったといわれる。長塚には不動明王像が二基確認されているが、この地が成田山不動明王と深い関係であり、その真言宗寺院が多いのに係わらず、不動明王像が少ない。

外形上石灯篭のようで、六角柱の塔身に仏像を彫った石幢が町内に二基ある。一方、町内で多いのは大師塔で、多くは昭和十二年に建てたもので、それは東総新四国八十八箇所が定められたときである。古川には小高い小山一箇所に、八十八基の大師像をまとめて建てた、古川大師がある。また、姥山には西国三十三観音霊場を模した石塔が、明治三十三年近隣信仰者によってに立てられている。

新井万福寺墓地には閻魔大王の石造が、町内唯一である。像容塔以外では、宝篋印塔は寺院に多く、五輪塔では小川台の宥照法印入定塚には特異な形の塔がある。文字塔で多いのは読誦塔である。

一方、神道系では新井に稲荷台明神の神像を彫った塔が、像容塔では唯一である。また神塔では宝篋印塔に似た龍神祠塔が海に近い屋形南川岸に二基あり、海神信仰のひとつの現れである。そのほか神祠塔は石祠が多く、多くは札も無く、何の神様を祀っているか分からなくなっている。

民俗的な神様としては道祖神が取り上げられ、町内にも多く分布しているが、多くは石祠か駒形の文字塔で、明治以降のものが多いと思われ、ここでは明治以前の年代の分かるものを表にした。

このほか、石像物としては、道標が道の辻々に見ることができる。多くは明治以降に建てられたもので、その道標には併せて霊場や山岳・名所などを参拝した記念を刻んだものも少なくない。近い所でも大山や富士山、遠くは四国厳島神社、出雲まで行ったことを標した塔もある。道標では天照皇大神を記し、明治以降の天皇制の浸透を図ったと思われる塔もある。横芝には道標に関連して、道路元標が二基確認された。これは明治期、各市町村で道路整備に当たり、その路程を測る基本として建てたものである。

このほかにも、記述はしなかったが、近年も多くの記念碑や顕彰碑などが建てられていて、古いものが忘れられ、埋もれて行く一方で増えてもいる。ここではどんなに新しいものでも昭和二十年をひとつの境とし、できるだけ古いものを優先的に取り上げた。今後もこれに留まらず、まだ埋もれている石仏を調査し、多くの方に知っていただく様にしたい。

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	山形 下総型	中世	キリーク	黒雲母片岩	37 × 29 × 7	篠本字宮ノ下 475-1	新善光寺
2	方形 下総型	中世	キリーク　上人	黒雲母片岩	92 × 40 × 10	篠本字宮ノ下 475-1	新善光寺板碑を墓石に再利用
3	方形 下総型	中世	揺珞 ウーン　蓮台 揺珞	黒雲母片岩		篠本字要害台 4570-1	
4	山形 武蔵型	15 世紀	キリーク　蓮台	緑泥片岩	50 × 19 × 2	篠本城跡	
5	山形 武蔵型	15 世紀		緑泥片岩	20 × 17 × 2	篠本城跡	
6	山形	15 世紀	二条線	砂岩	14 × 12 × 5	篠本城跡	
7	山形	15 世紀	二条線	砂岩	21 × 15 × 5	篠本城跡	
8	山形	15 世紀	二条線	砂岩	18 × 13 × 5	篠本城跡	
9	自然石	15 世紀	天蓋　キリーク　蓮台	シルト岩	49 × 23 × 11	篠本城跡	
10	自然石	15 世紀	天蓋　キリーク　蓮台	シルト岩	40 × 25 × 11	篠本城跡	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	自然石	15世紀	サク	シルト岩	37×34×8	篠本城跡	
12	自然石	15世紀	蓮台	シルト岩	29×17×6	篠本城跡	
13	自然石	15世紀	蓮台	シルト岩	25×19×5	篠本城跡	
14	方形下総型	中世	キリーク	黒雲母片岩	60×37×9	二又字塙 1210	長福寺
15	自然石	中世	五輪塔	シルト岩	59×40×9	二又字塙 1210	長福寺
16	方形下総型	中世	揺珞 バン 揺珞	黒雲母片岩	54×45×6	二又字打越 1224	三福寺前
17	方形下総型双式	中世	天蓋　キリーク　蓮台　須弥壇 天蓋　キリーク　蓮台　須弥壇	黒雲母片岩	67×89×7	新井字石井 1088-1	
18	方形下総型双式	中世	キリーク キリーク	黒雲母片岩	79×71×7	宝米字大部田 1204	明光院 町指定有形文化財
19	自然石	中世	天蓋　キリーク　蓮台	シルト岩	120×70×10	虫生字迎山 258-2	町指定有形文化財
20	山形	中世	二条線	砂岩	27×14×5	虫生字ニカヘ 404	星宮神社

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
21	方形下総型	中世	キリーク	黒雲母片岩	50×50×8	小川台字馬場 1320-5	薬師堂前
22	方形下総型	中世	天蓋　キリーク（サク）　蓮台（サ）　須弥壇	黒雲母片岩	85×88×8	小川台字馬場 888-1	隆台寺前 町指定有形文化財
23	自然石	中世	キリーク　蓮台	シルト岩	58×38×7	小川台字馬場 888-1	隆台寺前
24	方形下総型	中世	バク　蓮台	黒雲母片岩	62×52×8	台字寺馬場 1544	宗龍寺前 町指定有形文化財
25	方形下総型	中世	キリーク　蓮台　須弥壇	黒雲母片岩	87×54×8	台字寺馬場 1544	宗龍寺前 町指定有形文化財
26	方形下総型	永享九 1437	天蓋　キリーク（揺珞）（サク）　蓮台（サ）　須弥壇	黒雲母片岩	83×58×6	台字寺馬場 1544	宗龍寺前 町指定有形文化財
27	方形下総型双式	中世	バーンク　蓮台　タラーク　蓮台	黒雲母片岩	82×52×7	芝崎字東 767	西蓮寺
28	方形下総型	中世	キリーク　蓮台　須弥壇	黒雲母片岩	64×52×5	芝崎字東 767	西蓮寺
29	自然石	中世	天蓋　キリーク　蓮台　須弥壇（サク）（サ）	シルト岩	99×46×10	芝崎字東 766-1	西蓮寺墓地
30	方形下総型	中世	天蓋　キリーク（揺珞）（揺珞）　蓮台（サ）（サク）	黒雲母片岩	65×42×8	芝崎字東 765-1	西蓮寺墓地

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
31	方形下総型	中世	キリーク　蓮台　サ サク	黒雲母片岩	73×65×8	芝崎字東 765-1	西蓮寺墓地
32	方形下総型双式	中世	バク キリーク　蓮台　須弥壇 蓮台　須弥壇	黒雲母片岩	86×53×8	芝崎字東 765-1	西蓮寺墓地
33	方形下総型	中世	キリーク　蓮台　サ サク	黒雲母片岩	78×43×7	芝崎字東 765-1	西蓮寺墓地
34	自然石	中世	キリーク　蓮台	シルト岩	62×52×8	芝崎字東 765-1	西蓮寺墓地
35	方形下総型双式	中世	蓮台 蓮台	黒雲母片岩	35×43×7	谷台字砂郷 414	安養院
36	方形下総型	中世	キリーク　蓮台	黒雲母片岩	× ×	牛熊字宮台 930	八幡神社社殿礎石
37	山形武蔵型	中世	キリーク	緑泥片岩	57×17×2	長倉字入 1217	長勝寺
38	方形下総型	中世	天蓋　キリーク　蓮台	黒雲母片岩	92×67×5	坂田字奥 721	坂田城跡外堀東
39	方形下総型	中世	天蓋　キリーク　蓮台　須弥壇	黒雲母片岩	53×50×5	於幾字村内 657-1	粟島宮裏
40	方形下総型	中世	天蓋　揺珞 バン　揺珞　蓮台	黒雲母片岩	51×40×6	於幾字村内 657-1	粟島宮裏

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
41	方形下総型	中世	南無 揺珞 サ 天蓋 キリーク 蓮台 揺珞 サク	黒雲母片岩	46×44×8	宮川字沖中 273-1	永享寺境内 町指定有形文化財
42	方形下総型	中世	南無 天蓋 南無妙 南無	黒雲母片岩	24×55×6	上原 1282	八幡神社境内下部欠損
43	方形下総型	中世	天蓋 キリーク 蓮台 須弥壇	黒雲母片岩	88×64×8	白磯字三十三割 1886-1	不動院境内 町指定有形文化財
44	五輪塔群	中世	空風輪 27 火輪 37 水輪 28 地輪 24	砂岩	× ×	篠本城跡	
45	宝篋印塔群	中世	一石 2 相輪 6 笠 4 塔身 3 基礎 2	砂岩	× ×	篠本城跡	
46	中世石塔群	中世	五輪塔火輪 水輪 宝篋印塔相輪 笠 塔身 基礎	砂岩	× ×	二又字塙 1210	長福寺境内
47	中世石塔	中世	宝篋印塔	砂岩	× ×	谷中字輪ノ内 1472	
48	中世石塔群	中世	五輪塔 宝篋印塔	砂岩	× ×	宮川字折原 3620-1	庚申塚
49	中世石塔群	中世	板碑 五輪塔 宝篋印塔	緑泥片岩 砂岩	× ×	目篠字万五郎台 433	豊受神社裏
50					× ×		

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	駒形	延享四 1747	延享四卯丁八月 青面金剛　像容	砂岩	73 × 29 × 15	篠本字鍛冶谷 84	
2	駒形	宝永 1704～	宝永　篠本村 青面金剛　三猿 四月吉日　講中	凝灰岩	70 × 65 × 20	篠本字馬場 1892	
3	駒形	元文五 1740	青面金剛　三猿	砂岩	68 × 36 × 21	二又字田仲 1215	
4	駒形	寛政十二 1800	寛政十二　申辰　正月七日 青面金剛 當村講	砂岩	70 × 32 × 13	二又字鴻巣 1405-2	
5	駒形	万延元 1860	願主郷中 天下泰平 庚申塔（文字）　三猿（線刻） 五穀豊穣 万延元年庚申五月吉日	砂岩	80 × 44 × 19	二又字鴻巣 1405-2	
6	駒形		青面金剛　三猿	凝灰岩	69 × 30 × 22	市野原字 花ノ木 420	
7	笠角柱形	正徳七 1716	正徳七 青面金剛	砂岩	57 × 29 × 15	新井字馬場 432	
8	駒形	安政七 1860	安政七庚申年二月吉日 庚申塔（文字）	砂岩	68 × 28 × 18	新井字馬場 432	
9	笠角柱形	宝暦十 1751	青面金剛　三猿 宝暦十　四月吉日　實米村	安山岩	99 × 47 × 18	宝米字船戸台 1553	
10	笠角柱形	宝暦十 1751	青面金剛　三猿	砂岩	220 × 47 × 19	若梅字辺田 340	

庚申塔②

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申二月吉日 青面金剛 宝示戸村願主齋藤　左エ門	砂岩	60 × 27 × 9	傍示戸字宮門 213-1	
12	笠角柱形	元文五 1740	奉造立庚申大明寺一体 青面金剛 元文五庚申三月吉日	凝灰岩	110 × 28 × 27	富下字東妻 685-1	
13	駒形	寛政十 1798	寛政十年 青面金剛 虫生村講中	砂岩	39 × 30 × 20	虫生字迎山 951-1	
14	駒形	天明八 1789	請願成就　木重右エ門 青面金剛 天明八　月吉日	砂岩	55 × 26 × 15	台字寺馬場 1544	宗龍寺
15	笠角柱形	正徳三 1713	正徳三癸巳年長座塙然 青面金剛　三猿 信心清浄　安全	砂岩	81 × 27 × 15	台字寺馬場 1544	宗龍寺
16	駒形	宝暦七 1758	宝暦七年三月 青面金剛　三猿 上総国武射郡中台村	凝灰岩	57 × 39 × 10	母子字母子 461	
17	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申正月吉日齋藤　左エ門 青面金剛 伊藤伊三郎	凝灰岩	55 × 30 × 10	母子字母子 461	
18	櫛形	天明八 1782	青面金剛	砂岩	60 × 28 × 14	母子字子安 無番地	
19	駒形	寛政十二 1800	寛政十二 青面金剛	凝灰岩	52 × 27 × 13	芝崎字 海老川 1781	
20	笠角柱形	宝永二 1706	下総国柴崎村五木田良平 青面金剛　荒木権兵衛 宝永二　丙戌二月吉日	凝灰岩	68 × 25 × 24	芝崎字 海老川 1781	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
21	駒形	万延元 1860	万延元年十一月吉日 庚申 願主佐久間次郎エ門	凝灰岩	44 × 21 × 11	芝崎字海老川 1777-6	
22	石祠	慶応二 1867	慶応二丁卯年正月 芝崎村郷中 願主　関仲左エ門	凝灰岩	62 × 42 × 33	芝崎字海老川 1777-6	
23	石祠	宝暦九 1759	宝暦九己卯一月　中 願主神木	砂岩	50 × 25 × 15	芝崎字上台 791	
24	駒形	延宝八 1680	奉納月待庚申結縁講中 青面金剛 延宝八庚申七月記男女	砂岩	70 × 33 × 21	谷台字宮台 711-1	稲荷神社参道
25	自然石	万延元 1860	萬延元庚申中 庚申塔 十二月吉日	緑泥岩	70 × 37 × 12	谷台字宮台 711-1	稲荷神社参道
26	笠角柱形	享保十一 1726	奉納礼庚申待成就之所 青面金剛　三猿 上総国武射郡中台村	凝灰岩	173 × 42 × 29	中台字宮台 1366-1	大宮神社前 町指定 有形文化財
27	笠角柱形	宝暦八 1758	宝暦八　二月二 青面金剛	凝灰岩	135 × 32 × 16	木戸台字 谷部田 1818-1	
28	笠角柱形	明和元 1764	町原村宿下明和元年 青面金剛	凝灰岩	65 × 28 × 14	木戸台字 上滝の下 1072	
29	笠角柱形	寛政十二 1800	庚申 文化六　二月吉日 宮 新エ門	凝灰岩	67 × 28 × 15	木戸台字町原 1927-1	
30	石祠	文化六 1804	奉待庚申講成就 青面金剛 享保八癸卯十一月吉日	砂岩	36 × 28 × 18	遠山字庚塚 273-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
31	笠角柱形	正徳二 1727	正徳二庚　二月吉日上総國遠山村 庚申 天下泰平　国土安全	凝灰岩	108 × 28 × 14	遠山字瓜ヶ作 67	
32	駒形	寛政十二 1800	寛政十二年 青面金剛（文字） 庚申　四月吉日	凝灰岩	50 × 25 × 13	姥山字永作 320-2	
33	駒形	寛政八 1796	寛政八　十月吉日 青面金剛 願主　村中	凝灰岩	82 × 32 × 21	長倉字宮前 642-1	
34	駒形	天明二 1783	天明二癸卯正月 青面金剛	凝灰岩	90 × 34 × 20	取立字佐久 216-8	
35	笠角柱形	宝永七 1710	奉成就庚申待講中 青面金剛　三猿 宝永七庚申	凝灰岩	55 × 31 × 16	小堤字下和田 66-4	
36	笠角柱形	正徳元 1711	奉造立青面金剛尊 青面金剛 宝永七庚申	凝灰岩	150 × 31 × 19	坂田字根古屋 580-2	
37	駒形	延享二 1745	青面金剛	砂岩	86 × 40 × 24	曽根合字 坊ノ前 16-2	
38	笠角柱形	元文五 1740	元文五庚申上総國坂田郷奉納庚申成就 青面金剛	凝灰岩	121 × 55 × 30	於幾字村内 657-1	粟島宮前
39	櫛形	寛保元 1741	寛保元年辛酉八月二十八日 庚申（文字） 施主　土屋保左エ門	凝灰岩	57 × 27 × 20	於幾字村内 603-2	水神社前
40	笠角柱形	安永七 1778	横芝 青面金剛 安永七年七月	凝灰岩	88 × 33 × 19	横芝字真砂 514-3	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
41	駒形	寛政十二 1800	寛政十二年庚申 青面金剛	凝灰岩	55 × 29 × 12	横芝字真砂 514-3	
42	船形	元禄十七 1704	古川村善男女為安全 奉造立庚申成就（文字）三猿 元禄十七庚申四月吉日	凝灰岩	68 × 28 × 13	古川字龍ヶ塚 256-5	
43	駒形	寛政五 1793	願主横芝村橋本講中 青面金剛　三猿 寛政五癸丑年三月建立	砂岩	85 × 35 × 20	横芝字喜志台 1448-2	現在は橋本移転
44	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申三月建立 青面金剛　三猿 施主	凝灰岩	86 × 31 × 15	宮川字尻川田 5411-2	
45	笠角柱形	宝永五 1709	青面金剛　宮川村　三猿 宝永五戊子十月吉日	凝灰岩	98 × 31 × 16	宮川字尻川田 5411-2	
46	駒形	安永五 1772	願主宮内村中 青面金剛 安永五丙申正月吉日建立	凝灰岩	93 × 28 × 16	宮川字堀込（宮内） 2287-2	宮内浅間神社前
47	笠角柱形	正徳二 1712	奉成就庚申講中 青面金剛 正徳二戊辰八月吉日宮川村	凝灰岩	82 × 28 × 14	宮川字折原（古屋） 3620-1	
48	笠角柱形	天明元 1781	奉建立庚申　高野村郷中 青面金剛 天明元庚申十一月吉日	凝灰岩	128 × 50 × 24	宮川字馬場先（西高野） 7431	
49	角柱形	明治 三十七 1904	青面金剛	凝灰岩	58 × 25 × 13	宮川字馬場先（西高野） 7431	
50	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申二月吉日 青面金剛	凝灰岩	61 × 27 × 13	谷中字道溝 2799-3	

庚申塔⑥

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
51	笠角柱形	文化二 1805	文化二正月吉日 青面金剛	凝灰岩	76 × 28 × 12	谷中字道溝 2799-3	
52	笠角柱形	正徳五 1715	奉成就庚申　村中 青面金剛 正徳五庚申四月吉日下総谷中村	凝灰岩	62 × 28 × 13	谷中字道溝 2799-3	
53	駒形	寛政七 1795	當郡中建立 青面金剛 寛政七四月吉日	凝灰岩	66 × 28 × 15	谷中字道溝 2799-3	
54	自然石	明治 三十三 1900	庚申塔（文字）　明治廿二年九月 伊藤　衛	粘板岩	61 × 35 × 7	谷中字 上ノ村前 2053	
55	角柱形	寛政九 1797	青面金剛 寛政九年丁巳二月吉日	凝灰岩	71 × 33 × 20	谷中字堀ノ内 金刀比羅 神社前 1973	周りに飯岡石の文字塔が積まれる
56	笠角柱形	寛政五 1793	寛政五年3月吉日願主越川 青面金剛 講中	凝灰岩	130 × 49 ×	谷中字輪ノ内 1475	
57	駒形	寛政十二 1800	青面金剛（文字）	凝灰岩	110 × 30 × 17	谷中字輪ノ内 1475	
58	駒形	寛政十二 1800	青面金剛	凝灰岩	60 × 30 × 20	上原字八幡 1281-2	
59	笠角柱形	正徳五 1715	正徳五　十一月吉日 青面金剛 庚申	凝灰岩	93 × 34 × 20	上原字八幡 1281-2	
60	駒形	明治 二十四 1891	庚申塔（文字）	凝灰岩	50 × 20 × 13	上原字八幡 1281-2	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
61	櫛形		青面金剛	凝灰岩	69×28×18	原方字東坪 1352-2	隆原寺境内
62	櫛形	寛政十二 1800	青面金剛 寛政十二年	凝灰岩	39×31×18	原方字東坪 1352-2	隆原寺境内
63	角柱形	寛政十二 1800	青面金剛 寛政十二年	凝灰岩	39×26×11	原方字東坪 1352-2	隆原寺境内
64	駒形	寛政十二 1800	青面金剛 寛政十二年庚申正月	砂岩	45×28×15	原方谷後田 2752-1	
65	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申十一月吉日 青面金剛　三猿 当村郷中	凝灰岩	58×28×13	目篠字五郎台 433	豊受神社前
66	駒形	元文元 1736	奉待庚申講中安全処 青面金剛　三猿 元文元歳庚申三月目篠村中	凝灰岩	97×40×19	目篠字五郎台 433	豊受神社前
67	駒形	文化十四 1817	文化十四　二月吉日 青面金剛　三猿 村中	凝灰岩	75×21×15	目篠字五郎台 433	豊受神社前
68	駒形	寛政十二 1800	當村講中 青面金剛 寛政十二庚申三月八日	砂岩	65×33×15	木戸字二十二割（長塚） 6905-1	
69	笠角柱形	元禄三 1690	奉造立庚申 青面金剛　三猿 元禄三	砂岩	68×34×14	木戸字六十四割（長塚） 5118	
70	駒形	明治五 1872	明治五庚申十二月建立 青面金剛 木戸村講中	砂岩	65×26×18	木戸字六十四割（長塚） 5118	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
80	笠角柱形	寛政十二 1800	寛政十二庚申正月 青面金剛 仲間中	凝灰岩	104 × 30 × 13	木戸字十六割 （白磯） 798-1	正光院前
79	笠角柱形	宝永七 1810	奉成就庚申講為 青面金剛　三猿 宝永七年庚申十一月吉日　当村講中	凝灰岩	84 × 34 × 16	木戸字 三十四割 （白磯） 6905-1	
78	笠角柱形	文政七 1824	文政七年三月吉日 青面金剛	凝灰岩	90 × 53 × 25	木戸字 三十四割 （白磯） 6905-1	
77	駒形	宝永八 1811	奉成就庚申講中 青面金剛　三猿 宝永八辛卯三月吉日　高野村	凝灰岩	67 × 36 × 15	木戸字十六割 （白磯） 786	
76	駒形	享保六 1721	高野講中 青面金剛 享保六年三月吉日	凝灰岩	67 × 31 × 19	木戸字十六割 （白磯） 786	
75	角柱形	寛政十二 1800	青面金剛	凝灰岩	× ×	尾垂字三軒屋 北側 4316-2	
74	駒形	寛政十二 1800	寛政十二年庚申三月吉日 青面金剛 尾垂惣領村郷中	凝灰岩	96 × 39 × 30	尾垂イ字 杢代内 775	新隆寺前
73				砂岩	32 × 28 × 19	木戸字 七十一割 （五ノ神） 6077	重輪寺前 上部欠損
72	駒形	享和二 1802	享和二年五月吉日 庚申（文字） 吉田佐兵衛	砂岩	69 × 24 × 13	木戸字 （長塚） 5467-1	天祖神社 境内
71	駒形		青面金剛	砂岩	49 × 35 × 20	木戸字 六十四割 （長塚） 5118	

庚申塔⑨

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
81	櫛形		青面金剛	砂岩	46×26×12	木戸字三十三割（白磯）1886-1	白磯不動院前
82	笠角柱形	元文五 1740	奉造立庚申　元文五庚申 青面金剛 導佛	凝灰岩	132×39×24	木戸字三十三割（白磯）1886-1	白磯不動院前
83	角柱形	1800	青面金剛	砂岩	75×60×44	木戸字三十三割（白磯）1886-1	白磯不動院前
84	自然石		庚申（文字）	シルト岩	35×14×8	木戸字三十三割（白磯）1886-1	白磯不動院前
85	自然石	1800	青面金剛（文字）	シルト岩	24×25×17	木戸字三十三割（白磯）1886-1	白磯不動院前
86	駒形	天明八 1788	天明八年　吉日 青面金剛	凝灰岩	65×27×10	木戸字三十一割（辻）1680	辻観音院境内
87	駒形	天保九 1838	天保九年九月吉日 大木喜右エ門　三猿	凝灰岩	68×29×12	木戸字五十九割 4632-1	光泉寺参道
88	駒形	元禄九 1696	青面金剛	砂岩	57×27×14	木戸字五十九割 4632-1	光泉寺参道
89	駒形	安永九 1780	青面金剛　三猿 安永九年子十一月吉日庚申講中	凝灰岩	86×30×12	木戸字二十五割 1214	
90	駒形		青面金剛	砂岩	62×33×12	木戸字二十五割 1214	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
100	笠角柱形	宝永四 1707	奉成就庚申為二世安楽 青面金剛 宝永四丁　年四月吉日上総國清水村	凝灰岩	113 × 49 × 33	北清水字宮脇 5058-1	清水神社前
99	角柱形	安永九 1780	青面金剛　三猿 安永九年子十一月吉日願主當村講中	砂岩	75 × 26 × 10	鳥喰新田字 道祖神 427-2	
98	角柱形	寛政十二 1800	鳥喰上講中 青面金剛	砂岩	53 × 27 × 15	鳥喰新田字 道祖神 427-2	
97	駒形か	寛政十二 1800	青面金剛 寛政十二庚申二月吉日	凝灰岩	47 × 28 × 15	栗山字橋場山 2705	庚申塚
96	笠角柱形	宝永四 1707	奉成就庚申為二世安寧 青面金剛 上総国栗山清中	凝灰岩	55 × 28 × 14	栗山字橋場山 2705	庚申塚
95	駒形	享和三 1804	享和三庚申 青面金剛	凝灰岩	51 × 28 × 12	栗山字橋場山 2705	庚申塚
94	自然石		庚申（文字）	シルト岩	35 × 14 × 8	木戸字百割 9617-47	定期的に移動した
93	駒形	寛政十二 1800	寛政十二　十一月吉日 青面金剛	凝灰岩	56 × 24 × 22	木戸字 二十九割 （関） 944	
92	駒形	文政七 1824	関郷中 青面金剛 文政七庚申三月八日	凝灰岩	66 × 30 × 14	木戸字 二十九割 （関） 9856-6	
91	駒形	安永五 1776	安永五庚申十一月吉日 青面金剛 関村中	凝灰岩	70 × 30 × 23	木戸字 二十九割 （関） 9856-6	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
101	笠角柱形		青面金剛 二月吉日 願主當村中	凝灰岩	76 × 28 × 15	北清水字宮脇 5058-1	
102	駒形	寛政十二 1800	荒場講中　願主兵右衛門 青面金剛 寛政十二庚申十一月吉日	凝灰岩	67 × 33 × 22	屋形字荒場 921	四社神社前
103	駒形	万延元 1860	中西儀作建 庚申（文字） 萬延元庚申戊一月	凝灰岩	75 × 27 × 17	屋形字荒場 921	四社神社前
104	角柱形	大正四 1915	庚申塔（文字） 屋形三本松	凝灰岩	73 × 38 × 31	屋形字三本松 1799	
105	駒形	寛政十二 1800	青面金剛	凝灰岩	54 × 15 × 28	屋形字宮前 180-1	
106	角柱形	安永四 1775	青面金剛 安永四　未十二月吉日	凝灰岩	63 × 31 × 17	屋形字宮前 180-1	
107	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申五月吉日 青面金剛	凝灰岩	82 × 40 × 36	新島字本郷 2817	
108	角柱形	寛政七 1795	青面金剛 寛政七　三月吉日	凝灰岩	79 × 29 × 19	新島字新田 2968	二社神社前
109	船形	寛延二 1749	青面金剛 寛延二年辛巳一月吉日	凝灰岩	147 × 44 × 30	新島字新田 2968	二社神社前
110	笠角柱形	天明二 1783	天明二年癸卯十一月吉日 青面金剛 村中	凝灰岩	108 × 45 × 33	新島字新田 2968	二社神社前

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
111	駒形	安政七 1860	為郷中安全 青面金剛 安政七庚申年二月吉日	凝灰岩	89 × 49 × 29	新島字新田 2968	二社神社前
112	駒形	寛政十二 1800	寛政十二庚申十一月吉日 青面金剛 願主当村中	凝灰岩	83 × 33 × 16	新島字新田 2968	二社神社前
113		元禄十五 1702	元禄十五壬巳年一月 青面金剛　三猿	凝灰岩	63 × 45 × 22	新島字新田 2968	二社神社前
114	角柱形	正徳六 1716	正徳六庚申十一月吉日 青面金剛 屋形村講中十人	凝灰岩	75 × 37 × 24	屋形字立会 5165-1	

三　十九夜塔

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	船形	宝暦八 1758	宝暦八 一月八日　如意輪観音　十九夜念仏講中 かぢや谷善女人	砂岩	70 × 34 × 20	篠本字鍛治谷 84	
2	船形		如意輪観音	凝灰岩	62 × 26 × 15	篠本字宮ノ下 475-1	
3	櫛形	文政五 1822	文政五年五月 如意輪観音　貝塚村講中 免軒村善女人中　善女人	砂岩	87 × 30 × 21	篠本字向田 746	
4	櫛形	嘉永七 1854	嘉永七年一月吉日 如意輪観音 長峰村善女人中	砂岩	65 × 27 × 20	篠本字向田 746	
5	櫛形	宝暦七 1757	如意輪観音	砂岩	60 × 23 × 17	篠本字向田 746	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
15	丸彫	寛政九 1797	如意輪観音 寛政九年八月 妙　明信女 開眼　願成就	砂岩	33 × 25 × 18	傍示戸字門 213-1	
14	駒形	嘉永六 1825	如意輪観音像 郷中女人講中 聖如意輪観世音菩薩 為沸果菩提也	砂岩	72 × 30 × 18	宝米字五木田 456-1	
13	櫛形	寛政三 1791	善男女講中 如意輪観音 寛政三戌申四月　日	凝灰岩	76 × 34 × 16	宝米字表 1183	西徳寺
12	船形		如意輪観音	砂岩	60 × 32 × 17	宝米字表 1183	西徳寺
11	船形	明和五 1768	如意輪観音	凝灰岩	92 × 39 × 28	宝米字大部田 1204	
10	櫛形	宝暦八 1758	十九夜講中男女 如意輪観音 宝暦八年年　七月十九日	凝灰岩	74 × 37 × 20	新井字馬場 433-1	
9	丸彫	明和六 1769	如意輪観音 明和六年五月 十九夜講中 市野原村	安山岩	46 × 36 × 16	市野原字観音 376-1	
8	船形	寛政三 1791	寛政三辛亥八月吉日建立 如意輪観音	凝灰岩	77 × 37 × 9	二又字田仲 1215	
7	櫛形	明治 二十 五 1892	如意輪観音	砂岩	58 × 26 × 15	篠本字向田 746	
6	櫛形		如意輪観音	砂岩	88 × 30 × 18	篠本字向田 746	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
16	船形	宝暦二 1752	如意輪観音　成就善男女 十九夜講中 宝暦二壬申月吉日	砂岩	51 × 31 × 6	傍示戸字 平井台 943	
17	駒形		当村善女人中 如意輪観音 八　十一月	凝灰岩	46 × 28 × 16	富下字西 661	
18	櫛形	明治十七 1884	女人中 如意輪観音 虫生村	砂岩	66 × 25 × 15	虫生字迎山 951-1	
19	櫛形		如意輪観音	砂岩	39 × 27 × 21	虫生字迎山 951-1	
20	櫛形	寛政六 1794	當邑善女人 如意輪観音 寛政六年甲午閏十一月	凝灰岩	65 × 30 × 24	虫生字寺前 485	
21	丸彫	宝暦六 1756	如意輪観音　宝暦六子二月吉祥日 十九夜講村中善男善女	凝灰岩	72 × 26 × 9	小川台字馬場 8881	隆台寺境内
22	丸彫		如意輪観音	砂岩	42 × 29 × 20	台字堰 337-2	
23	丸彫		如意輪観音	安山岩	37 × 33 × 18	小田部字 木の宮 493	
24	船形	安永八 1779	三界萬霊安永八 如意輪観音像 小田部村	凝灰岩	68 × 39 × 20	小田部字狐塚 168	
25	櫛形	天保九 1838	十九夜女人中 如意輪観音 天保九戊午二月吉日	砂岩	67 × 27 × 20	芝崎字大芦場 2101-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
26	櫛形	安永	安永 如意輪観音 観世音	砂岩	53 × 28 × 11	中台字橋戸 1159-3	
27	丸彫		如意輪観音	砂岩	47 × 33 ×	中台字台 781	円福寺山門
28	櫛形		十九夜当村 如意輪観音 講中	凝灰岩	60 × 30 × 17	中台字台 781	円福寺山門
29	船形	天保七 1836	中台村 如意輪観音 天保七　丙	安山岩	48 × 27 × 16	中台字台 781	円福寺山門
30	櫛形	宝暦八 1758	当村善如人中 如意輪観音 寛政九十一月十一観音	砂岩	99 × 24 × 15	木戸台字町原 1933-1	
31	櫛形	寛政九 1787	当村善女人 如意輪観音 寛政九十一月	砂岩	61 × 30 ×	小堤字日吉 250-2	
32	船形	安永四 1775	安永四未五月吉日 如意輪観音 当村善女人中	砂岩	41 × 29 × 14	遠山字本郷 584	万福寺境内
33	櫛形	寛政三 1791	天保二　三月吉日 如意輪観音 郷女人中	凝灰岩	67 × 27 × 14	遠山字本郷 584	万福寺境内
34	櫛形		十九夜講中 如意輪観音 願主同村講中	凝灰岩	66 × 28 × 14	姥山字下ノ中 168	
35	駒彫		如意輪観音	砂岩	47 × 24 × 14	長倉字間 1326	恵光院

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
45	櫛形	安政三 1856	安政三辰十二月吉日 如意輪観音 宮川村小屋善女人中	砂岩	64×27×11	宮川字天王 4834	
44	櫛形	天明六 1786	十九夜講中　天明六丙四月吉日 如意輪観音 横芝村善女人	砂岩	55×25×12	横芝字西松本（本町） 722-4	
43	櫛形	享保十四 1729	亮潟善女 如意輪観音 享保十四巳酉十月吉日	凝灰岩	65×28×10	横芝字大島（上町） 2279	
42	船形		如意輪観音	凝灰岩	56×25×12	横芝字大島（上町） 2279	
41	櫛形	文政元 1818	十九夜講中 如意輪観音 文政元亥二月吉日	凝灰岩	72×28×10	横芝字大島（上町） 2279	
40	櫛形	正徳六 1714	如意輪観音	砂岩	28×36×	両国新田字敷成 98	
39	櫛形	明治四 1871	善女人 如意輪観音 村内安全	砂岩	58×24×13	両国新田字敷成 98	
38	船形	宝暦八 1759	寺方村善女人 如意輪観音 宝暦八	凝灰岩	52×32×13	寺方字振子 404-1	真珠院境内
37	櫛形	宝暦九 1760	如意輪観音	凝灰岩	61×25×14	取立字新向 92	
36	櫛形		安永 如意輪観音 観世音	凝灰岩	46×22×15	取立字新向 92	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
46	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	34×30×20	西高野字馬場 7431	
47	櫛形	安永四 1775	安永四年十一月建立 如意輪観音 芝　善男善女人中	凝灰岩	76×30×15	谷中字堀ノ内 1973	
48	櫛形	天保三 1832	十九夜講　如意輪観音	凝灰岩	53×26×16	谷中字輪ノ内 1472	
49	船形	貞享四 1687	道法の門 如意輪観音 貞享四　卯八月吉日	凝灰岩	70×35×25	谷中字輪ノ内 1472	
50	船形		如意輪観音	凝灰岩	51×27×19	宮川字源蔵田 8498	
51	櫛形	文政二 1819	文政二卯　吉日 如意輪観音	凝灰岩	85×27×12	宮川字沖中 2273-1	
52	櫛形	安永二 1776	安永五年　十二月十日 如意輪観音 作間内村中善女人	砂岩	72×25×22	宮川字作間内 1578	正等院
53	櫛形	天保五 1834	天保五年三月吉日 如意輪観音	凝灰岩	68×29×14	宮川字下ノ内（作間内） 1516-1	
54	櫛形	寛政二 1790	願主　十五夜講中 如意輪観音 寛政二戌　吉日	凝灰岩	60×25×16	目篠字塔ノ下 2386	
55	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	42×38×21	原方字東坪 1352-2	隆原寺

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
56	船形	正徳二 1712	正徳二 奉　如意輪十九夜念佛 如意輪観音 十一月十九日　下総国原方　願主同村善女	凝灰岩	66 × 38 × 12	目篠字新堀 722-2	大正寺境内
57	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	60 × 28 × 20	木戸字 九十三割 （長塚） 8408-1	宝萬寺境内
58	船形	宝暦二 1752	如意輪講中　長塚村善女人十九夜 如意輪観音 宝暦二壬申二月吉日	凝灰岩	67 × 29 × 21	木戸字 六十七割 （長塚） 5449-1	
59	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	63 × 27 × 17	木戸字 六十七割 （長塚） 5449-1	
60	船形	宝暦六 1756	十九夜講中五ノ神善男女人 如意輪観音 宝暦六戌子十一月吉日	凝灰岩	52 × 30 × 15	木戸字 七十一割 （五ノ神） 6077	重輪寺前
61	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	64 × 28 × 18	尾垂字三軒屋 3975-9	県道飯岡片貝線沿い 大布川岸
62	船形	文政二 1819	文政二 如意輪観音	凝灰岩	64 × 28 × 18	尾垂字三軒屋 3975-9	県道飯岡片貝線沿い 大布川岸
63	駒形		栢田村 本西　如意輪観音 女人中	凝灰岩	68 × 29 × 14	尾垂字三軒屋 北側	県道飯岡片貝線沿い 大布川東岸
64	櫛形	安永六 1777	十五夜講中　安永六 如意輪観音 當村　善男女人	凝灰岩	68 × 32 × 17	木戸字十六割 （白磯高野） 784	
65	船形	宝永五 1708	十九夜念佛成就為　高谷村善女人 如意輪観音 宝永五戊子十一月十九日	凝灰岩	73 × 38 × 18	木戸字十七割 （白磯高野） 798-1	正光院前

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
66	櫛形	享保十 1725	如意輪観音 享保十年	砂岩	45 × 30 × 14	木戸字十七割 （白磯高野） 798-1	正光院前
67	船形	宝暦三 1753	如意輪観音	砂岩	99 × 32 × 29	木戸字 三十三割 （白磯） 1886-1	白磯 不動院前
68	櫛形	文化十二 1815	當村新田 善女人中 如意輪観音 文化十二乙二月吉日	凝灰岩	62 × 29 × 10	木戸字 三十一割 （辻） 1680	辻観音院前
69	駒形	明治 四十二 1909	如意輪観世音 如意輪観音 女人中	凝灰岩	63 × 26 × 10	木戸字 三十一割 （辻） 1680	辻観音院前
70	櫛形	天保三 1832	天保三壬辰 如意輪観音 當女人中	凝灰岩	81 × 39 × 20	木戸字 五十九割 4632-1	光泉寺境内
71	櫛形		如意輪観音	凝灰岩	66 × 39 × 37	木戸 五十九割 4632-1	光泉寺境内
72	櫛形	寛政七 1795	願主善女 如意輪観音 寛政七　八月二十三日	凝灰岩	63 × 31 × 12	栗山字沢山 435-2	
73	櫛形	文政二 1819	文政二卯四月吉日 如意輪観音 新田善女人中	凝灰岩	62 × 26 × 16	鳥喰新田字 道祖神 425-1	
74	櫛形	文久二 1863	文久二壬十一月吉日 如意輪観音 下鳥喰村講中	砂岩	55 × 25 × 20	鳥喰下字 伏木田 166-1	
75	櫛形	文化七 1810	文化七　二月十九日願主 十九夜講中 如意輪観音	凝灰岩	58 × 28 × 15	北清水字宮脇 5060-8	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
85							
84	船形		如意輪観音	砂岩	35×27×15	屋形字立会 5153-2	
83	船形	明治二十八 1895	明治二十八年 如意輪観音	凝灰岩	55×27×17	新島字茶畑 5050-2	
82	船形	明和三 1767	奉待十九夜 如意輪観音 明和三丙戌二月	凝灰岩	67×35×15	新島字本郷 1454	薬王寺前
81	船形	明和三 1767	十九夜念佛　講中新堀本村善女人 如意輪観音 明和三丙戌十一月	凝灰岩	73×29×18	新島字本郷 2839-1	光音寺前
80	船形	寛延三 1750	十九夜講　寂心法印 如意輪観音 寛延三庚十一月	凝灰岩	31×31×12	屋形字三本松 1780-1	
79	櫛形	明和三 1766	十九夜念佛　方善女人 如意輪観音 明和三　十月吉日	凝灰岩	76×31×13	屋形字目篠後 1316-3	
78	船形	明和四 1767	十九夜講中　願主妙泉 如意輪観音 明和四丁亥三月吉日	砂岩	57×30×18	北清水字東里 863	
77	船形	明和二 1765	東里講中善女人 十九夜講　如意輪観音 安永三年十一月吉日	砂岩	68×33×20	北清水字東里 863	
76	船形	安永三 1774	村中安全女人成就 如意輪観音 安永三年十一月吉日	凝灰岩	58×30×12	北清水字宮脇 5060-8	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	角柱形	安永五 1769	安永五丙申十一月建立 サク　二十三夜　勢至菩薩（文字） 享保七壬戌参詣十堂観念佛成就	凝灰岩	66×25×16	二又字田仲 1215	
2	船形	享保七 1722	勢至菩薩 吉日　二又村同行善男女	砂岩	73×28×15	二又字田仲 1215	
3	角柱形	寛政五 1793	二十三夜 得大勢至菩薩（文字） 講中　寛政五年癸丑	砂岩	63×27×20	市野原字板里 413	新井万福寺墓地
4	船形	宝永五 1705	宝永二乙酉七月吉日 勢至菩薩 香取郡宝米村巡礼講中三十人	砂岩	67×37×20	宝米字表 1183	西徳寺
5	角柱形		願主傍示戸郷中　工門 勢至菩薩	砂岩	80×44×19	傍示戸字宮門 219	
6	角柱形		正月　妙照 地蔵菩薩 願主若梅邑　庄左工門	砂岩	67×23×21	傍示戸字宮門 219	
7	駒形	文政七 1824	文政七甲子十二月吉日 勢至菩薩 當山五世	砂岩	68×24×18	台字寺馬場 1544	宗龍寺
8	自然石		二十三夜（文字）	シルト岩	18×15×7	母子字母子 461	
9	角柱形	享保十三 1728	中台村若衆 寒念仏成就 享保十三戊辰十二月	凝灰岩	23×24×18	中台字台 781	円福寺山門
10	角柱形	文化十四 1817	人間　文化十四年十一月 南無阿弥陀仏　神使守	凝灰岩	77×30×21	於幾字村ノ内 603-2	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	角柱形		五丙申 二十三夜　紀	凝灰岩	61×24×18	両国新田字　98	
12	船形	元禄七 1694	貞享元年四月十五日 勢至菩薩 元禄七甲戌三月廿八日妙国信	凝灰岩	77×35×25	古川字古里　931	
13	船形	元禄十 1697	二十三夜　善男女人 地蔵菩薩 元禄十　正月　上総国古川村	凝灰岩	77×37×25	古川字古里　931	
14	櫛形	明治 三十五 1902	勢至菩薩	砂岩	68×24×12	古川字南　204	
15	船形		勢至菩薩	凝灰岩	68×26×16	谷中字輪ノ内　1472	
16	駒形	安永	安永　年 二十三夜（文字） 六月吉日	砂岩	44×21×12	谷中字高田　2044	
17	駒形	嘉永五 1848	嘉永五年 二十三夜	凝灰岩	43×22×13	宮川字作間内　1578	正等院境内
18	櫛形	文化十四 1817	文化十四丑七月吉日 二十三夜塔（文字） 願主傳左エ門	砂岩	53×22×12	木戸字六十七割（長塚）　5467-1	
19	船形	天和二 1682	覚円発心 勢至菩薩 天和二壬戌十一月吉日	凝灰岩	52×28×16	木戸字十七割（白磯）　798-1	
20	角柱形	天保六 1835	天保六 二十三夜（文字）	砂岩	72×39×27	木戸字十七割　798-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
21	櫛形		南無阿弥陀佛	花崗岩	146×46×35	木戸字五十九割 4632-1	光泉寺
22	駒形	文政三 1820	二十三 文政三辰三月吉日	凝灰岩	58×32×15	木戸字二十九割 9856-6	
23	角柱形	宝永四 1707	宝永四年 奉成就二十三夜講 十月吉日	凝灰岩	63×34×25	木戸字十一割 560-1	
24	笠角柱形	元文二 1738	願主西連 念佛講成就 主河水善女寸	凝灰岩	35×25×21	栗山字内埜 3131	
25	櫛形		菩薩 善女人	凝灰岩	48×29×17	屋形字目篠 1316-3	
26	櫛形	元文三 1738	十五夜念仏　屋形 勢至菩薩 元文三戊午二月吉日方善女人中	凝灰岩	60×34×15	屋形字荒場 921	
27	船形	元禄二 1689	奉造立二十三夜 勢至菩薩 元禄二十一月二十三日	凝灰岩	43×22×13	屋形字立合 5165-1	
28	船形		同行人 勢至菩薩 九月吉日	凝灰岩	100×40×22	屋形字立合 5165-1	
29	船形	宝永元 1704	奉成就二十三夜二世安全 勢至菩薩 宝永元　惣ェ衛	凝灰岩	62×30×18	屋形字南川岸 4952	
30	駒形		講中安全 勢至菩薩	凝灰岩	53×28×12	屋形字南川岸 4952	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	67×31×33	篠本字宮ノ下 475-1	新善光寺
2	丸彫	宝暦二 1752	六地蔵菩薩立像　寒念仏成就 宝暦四	砂岩	×　×	二又字塙 1210	長福寺山門
3	櫛形	天保四 1833	天保四乙年九月吉日 地蔵菩薩坐像 善女人中	砂岩	67×29×20	二又字塙 1210	
4	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	58×20×17	市野原字観音 376-1	
5	櫛形	天保十二 1841	講中善女人中 天宝十二　三月十八日 地蔵菩薩坐像 本願主　照厳	砂岩	79×28×20	宝米字大部田 1204	
6	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	61×27×18	宝米字大部田 1204	
7	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	65×19×14	宝米字表 1183	
8	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	64×24×14	宝米字表 1183	
9	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	57×24×20	傍示戸字門 219	
10	駒形		地蔵菩薩	砂岩	72×37×10	富下字西 661	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	丸彫		富下村善男女惣講中 地蔵菩薩立像 富下惣中	凝灰岩	77×25×14	富下字東妻 685-1	金蔵院境内
12	丸彫	元禄十四 1701	地蔵菩薩立像	砂岩	77×27×21	虫生字鬼堂 20-1	
13	丸彫		地蔵菩薩坐像	砂岩	70×21×17	小川台字馬場 1320-1	
14	丸彫	天保九 1838	地蔵菩薩立像	砂岩	50×26×7	小川台字折内 1041-2	
15	丸彫		六地蔵菩薩坐像	砂岩	80×24×18	台字寺馬場 1544	
16	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	67×26×16	小田部字木の宮 493	
17	丸彫	寛政六 1794	六地蔵菩薩立像	凝灰岩	68×25×21	中台字台 781	
18	船形	元禄六 1693	地蔵菩薩立像 元禄六	凝灰岩	55×21×	中台字台 781	
19	櫛形	弘化三 1846	當村女人中　弘化三年三月建立 地蔵菩薩立像	凝灰岩	50×27×16	中台字島井戸 124-1	
20	駒形		女人中 地蔵菩薩立像	凝灰岩	× ×	木戸台字門出 1329-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
21	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	40×20×10	木戸台字町原 1933-1	
22	櫛形	嘉永四 1851	嘉永四　文月吉日 地蔵菩薩立像	砂岩	52×30×13	木戸台字町原 1933-1	
23	丸彫		地蔵菩薩坐像	安山岩	86×27×18	小堤字日吉 250-2	
24	丸彫	天保九 1838	六地蔵菩薩立像	砂岩	71×24×14	小堤字日吉 269	東福寺
25	丸彫		地蔵菩薩坐像	凝灰岩	67×27×14	遠山字本郷 584	万福寺
26	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	75×28×15	遠山字本郷 584	万福寺
27	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	49×15×20	長倉字入 1217	
28	船形		地蔵菩薩立像	砂岩	60×30×25	長倉字入 1217	
29	櫛形		地蔵菩薩立像	砂岩	23×13×8	長倉字門 1326	
30	船形		上総国長倉 地蔵菩薩立像	凝灰岩	85×28×16	長倉字向 1321	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
31	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	88×26×15	取立字新開 100	
32	丸彫		地蔵菩薩立像	安山岩	122×23×15	寺方字脇山 375	
33	丸彫		六地蔵菩薩立像	安山岩	75×26×15	寺方字辺田 114-1	
34	櫛形	享保七 1722	地蔵菩薩立像 享保七壬寅十一月七日 五十日吉日清教善女	砂岩	68×50×10	曽根合字坊ノ前 16-2	
35	船形		地蔵菩薩坐像 三月	凝灰岩	45×30×10	古川字石合 9-1	浅間山麓
36	船形	寛文十 1670	地蔵菩薩立像 寛文十戌 十月吉日	凝灰岩	69×32×17	古川字古里 120	
37	船形	元禄十 1677	為十界東 界品無縁菩提 地蔵菩薩立像 元禄十 両佛	砂岩	75×35×30	横芝字松本 893	
38	櫛形	安永三 1774	地蔵菩薩立像 安永三甲午年 七月吉日建立	粘板岩	87×36×24	横芝字松本 893	
39	船形	寛文十 1670	地蔵菩薩立像 寛文十	凝灰岩	140×43×24	宮川字本郷 5475	
40	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	67×25×16	宮川字大代 4625-1	古屋福秀寺

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
41	船形	元文元 1736	地蔵菩薩立像	安山岩	56×27×16	宮川字大代 4625-1	
42	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	64×28×15	宮川字天王（古屋） 4894	
43	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	46×24×24	西高野字馬場 7431	
44	丸彫		地蔵菩薩立像	砂岩	80×38×32	谷中字上ノ村前 16-2	
45	櫛形		地蔵菩薩坐像	凝灰岩	66×28×19	谷中字輪ノ内 1472	
46	櫛形	安政二 1856	安政二乙卯年十一月吉日 地蔵菩薩立像	凝灰岩	56×26×16	谷中字桜田 1363	
47	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	89×29×16	宮川字太夫里（入） 10061-1	
48	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	60×29×17	宮川字沖中 2273-1	
49	丸彫	元文四 1739	六地蔵菩薩立像　元文四	砂岩	147×28×16	宮川字作間内 1578	正等院境内
50	駒形		地蔵菩薩立像	凝灰岩	39×29×15	原方字東坪 1352-2	隆原寺境内

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
51	丸彫		六地蔵菩薩立像	凝灰岩	61×23×16	木戸字六十七割（長塚）5449-1	
52	船形	寛政五 1793	願主 地蔵菩薩立像 當村	砂岩	65×29×16	木戸字七十一割（五ノ神）10213-1	
53	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	46×20×13	木戸字十七割（白磯）798-1	
54	船形	享保三 1718	智光法的 地蔵菩薩立像 享保三年	凝灰岩	58×30×14	木戸字十七割（白磯）798-1	
55	丸彫		地蔵菩薩坐像	凝灰岩	44×33×18	木戸字十七割（白磯）798-1	正光院
56	丸彫	享保十八 1733	六地蔵菩薩立像	砂岩	117×27×15	木戸字三十三割（白磯）1886-1	不動院
57	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	44×32×23	木戸字三十三割（白磯）1886-1	不動院
58	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	70×32×22	木戸字三十三割（白磯）1886-1	
59	笠角柱形	明和五 1768	地蔵菩薩立像 明和五戊子正月 建立	砂岩	65×24×15	木戸字三十一割（辻）1608-1	辻観音院境内
60	船形		地蔵菩薩立像	砂岩	××	木戸字三十一割（辻）1352-2	辻観音院境内

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
61	丸彫		地蔵菩薩立像 奉 全安中村	凝灰岩	85×30×22	木戸字五十九割 4632-1	光泉寺境内
62	船形		地蔵菩薩立像	凝灰岩	83×35×18	木戸字五十九割 4632-1	光泉寺境内
63	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	47×23×13	木戸字二十割 1210-1	
64	丸彫	元文元 1737	地蔵菩薩立像	凝灰岩	182×32×22	木戸字九割	
65	丸彫		地蔵菩薩坐像	凝灰岩	66×23×17	木戸字十九割 944	
66	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	44×16×16	木戸字九割 456-1	
67	丸彫		地蔵菩薩立像	凝灰岩	56×35×39	鳥喰新田字道祖神 425-1	
68	櫛形		正光院 地蔵菩薩立像	砂岩	113×21×8	鳥喰下字南表 2677	
69	丸彫	元禄十一 1698	六地蔵菩薩立像 龍宝山正光院無量寺 真言宗智山派 本尊　大日如来	凝灰岩	121×39×18	屋形字宮前 743-1	無量寺前
70	船形	元禄八 1695	上総国新堀村　念仏講中連 地蔵菩薩立像 元禄八　亥年	凝灰岩	106×47×30	新島字箕輪 19	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	駒形	文久元 1861	文久元酉年 馬頭観世音（文字） 八月吉日	砂岩	38 × 21 × 11	二又字田仲 1215	
2	駒形	文化七 1810	文化七庚午年四月吉日 馬乗馬頭観音 市野原邑中　願主彦左衛門	砂岩	66 × 26 × 26	市野原字観音 376-1	
3	駒形		馬乗馬頭観音 馬頭観世音	凝灰岩	59 × 28 × 10	富下字西 661	
4	駒形	文政六 1823	馬乗馬頭観音	凝灰岩	59 × 26 × 27	芝崎字海老川 1781	
5	駒形	享和二 1802	享和二戊　正月吉日 馬乗馬頭観音 當村講中	凝灰岩	60 × 30 × 12	牛熊字浅田村 305	
6	駒形		馬乗馬頭観音	砂岩	45 × 22 × 10	中台字上原 1039-1	
7	角柱形	文化元 1804	馬乗馬頭観音（文字）	砂岩	45 × 30 × 21	中台字上原 1039-1	
8	角柱形		馬乗馬頭観音	砂岩	25 × 14 × 12	中台字上原 1039-1	
9	駒形	文化三 1805	馬頭観音	凝灰岩	60 × 27 × 14	木戸台字門砂 1329-1	
10	船形	文化十四 1817	西国秩父坂東 馬頭観音 百番成就之処 願主当村 寄進郷中　長左エ門	凝灰岩	54 × 29 × 12	長倉字大部田 374	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	櫛形	寛政八 1817	取立村中 馬頭観音 寛政八年二月建立	凝灰岩	62 × 27 × 15	取立字新開 100	
12	角柱形	文政九 1826	文政九酉　二月 馬乗馬頭観音 当郷馬持	凝灰岩	59 × 36 × 21	横芝字松本 893	
13	駒形	明治十二 1872	上宮 馬乗馬頭観音	凝灰岩	58 × 23 × 12	宮川字浅間 5700-2	
14	船形		馬乗馬頭観音	凝灰岩	42 × 30 × 16	宮川字太夫里 （入） 10060	自性院境内
15	櫛形		馬頭観音	凝灰岩	39 × 26 × 11	原方字東坪 1352-2	隆原寺境内
16	櫛形	天保四 1833	天保四 馬頭観音（文字） 六月吉日	凝灰岩	37 × 27 × 9	尾垂イ字 愛宕後 1565-2	知足院境内
17	駒形		馬頭観音（文字）	凝灰岩	30 × 15 × 11	木戸字十六割 （白磯） 754	
18	駒形		馬頭観音（文字）	シルト岩	36 × 20 × 11	木戸字十六割 （白磯） 754	
19	駒形	嘉永三 1850	嘉永三戌 馬乗馬頭観音 八月吉日	砂岩	40 × 23 × 13	木戸字十六割 （白磯） 754	
20	船形		馬乗馬頭観音	砂岩	33 × 24 × 10	木戸字 二十五割 1210-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
21	櫛形	天保二 1831	天保二辛卯年8月吉日 馬頭観音 木戸村畔蒜定右エ門	砂岩	86×33×20	木戸字二十五割 1213	
22	駒形	文政三 1820	文政三辰 十一月立 馬乗馬頭観音 当村郷中	凝灰岩	71×35×25	栗山字宮脇 3211	鹿島神社前
23	角柱形	寛政十二 1801	寛政十二年 馬乗馬頭観音	砂岩	35×26×17	鳥喰下字伏木 166-1	
24	櫛形	寛政十二 1801	寛政十二申三月吉日 馬乗馬頭観音	凝灰岩	54×27×16	鳥喰下字南表 2677	
25	駒形		馬頭観音	凝灰岩	60×28×25	北清水字西妻 1319-2	延命寺
26	櫛形	寛政七 1795	寛政七卯四月 馬乗馬頭観音	凝灰岩	73×28×18	屋形字三本松 1780-1	
27	櫛形 角柱形	大正六 1925	馬頭観世音（文字）	凝灰岩	57×17×11	屋形字立合 5153-2	
28	駒形	享保	享保 馬頭観世音（文字） 三月	凝灰岩	48×23×11	屋形字今切 5106-13	
29	角柱形	明治 二十五 1892	明治廿五年 馬頭観世音（文字）	凝灰岩	40×23×13	屋形字今切 5106-13	
30	駒形	昭和十四 1939	馬頭観世音（文字）	凝灰岩	52×30×18	屋形字今切 5106-13	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	櫛形	享和四 1804	子安宮 市野原村講中 享和四子年二月吉日 子安観音	凝灰岩	70×38×29	市野原字観音 376-1	
2	櫛形	享和二 1802	享和二年戌九月廿五日 子安観音 當村善女人中	砂岩	66×26×26	新井字石生 1130	
3	櫛形	天保十三 1812	天保十三年 子安観音 郷中女人中	砂岩	52×27×11	傍示戸字宮門 213-1	
4	駒形	嘉永四 1851	当村女人中 子安観音 嘉永四亥十一月	凝灰岩	74×24×15	富下字西 661	
5	櫛形		子安観音	凝灰岩	63×27×26	小川台字柳内 1041-2	
6	船形	寛政十二 1800	寛政十二申 子安観音 願主　女中	凝灰岩	62×25×17	芝崎字上ノ台 1039-1	
7	石祠形	宝暦十四 1764	子安 子安大明神 宝暦十四甲申正月吉日	凝灰岩	52×26×16	芝崎字上ノ台 1039-1	
8	駒形	寛政六 1794	寛政六甲寅四月建立 子安観音 願主宿生妙弥	砂岩	66×29×15	宮川字天王 4834	
9	角柱形	天明五 1785	子安大明神 子安大明神 天明五　四月吉日	砂岩	38×24×14	木戸字十六割（白磯） 754	
10	櫛形	宝暦六 1756	関村惣女中 子安観音 宝暦六年十月吉日	凝灰岩	88×39×18	木戸字九割 456-1	

その他仏像塔①

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	角柱	安永九 1779	南無妙法蓮華経 安永九庚子郷方講中	凝灰岩	83 × 33 × 22	篠本字古河内 508−1	題目塔
2	櫛形	延享元 1744	カーン 延享元甲子 連寂犬狗開墳 十月　内	砂岩	59 × 26 × 19	新井字馬場 433−1	犬供養塔
3	丸彫		閻魔大王	凝灰岩	65 × 58 × 27	市野原字板里 413	新井万福寺墓地内
4	丸角柱形	享保五 1720	開誦所下総國匝瑳郡虫生村 南無妙法蓮華経 広済寺現住	凝灰岩	126 × 45 × 27	虫生字寺前 483	題目塔
5	角柱形	延宝四 1740	南無遍照金剛 延宝四丁卯三月二十一日	凝灰岩	60 × 24 × 17	小川台字馬場 1320−5	大師塔
6	船形	弘化五 1848	六観音菩薩	花崗岩	77 × 36 × 28	小田部字木の宮 493	
7	駒形	天明八 1788	弘法大師	砂岩	65 × 24 × 12	小田部字木の宮 493	
8	丸彫	享和二 1802	地蔵菩薩 享和二壬戌十二月 三界萬霊谷台村 南無阿弥陀仏	凝灰岩	110 × 22 × 15	谷台字増ヶ台 760−1	万霊塔
9	櫛形	明和七 1802	地蔵菩薩 明和七　年牛熊村 十五夜念佛成就 十一月吉日	凝灰岩	60 × 27 × 14	牛熊字上宿 915	十五夜塔
10	丸彫	文政三 1820	弘法大師 文政三庚午十月吉日 南無遍照金剛 百万遍供養塔 牛熊村郷中安全	砂岩	64 × 25 × 16	牛熊字上宿 915	大師塔

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	石幢		六地蔵菩薩	凝灰岩	95×45×45	牛熊字上宿 915	
12	角柱形		三界浄念佛講 善男女	凝灰岩	30×28×19	姥山字下ノ内 168	
13	櫛形		三界萬霊 地蔵菩薩	安山岩	55×36×20	長倉字権現 1094-1	万霊塔
14	丸彫	寛文十 1670	阿弥陀如来 下総国匝瑳郡	凝灰岩	200×40×28	宮川字本郷 5476	放光院境内
15	丸彫		阿弥陀如来	安山岩	82×23×20	宮川字本郷 5471-1	
16	火炎形	文化三 1806	不動明王 奉納千座維摩経成就 文化三年寅三月十八日	凝灰岩	70×32×18	木戸字九十三割（長塚） 8408-1	
17	火炎形		不動明王	凝灰岩	114×48×38	木戸字十七割（長塚） 493	
18	丸彫	文化十一 1814	地蔵菩薩 文化十一甲戌四月建立 三界萬霊	凝灰岩	272×61×61	木戸字五十九割 760-1	万霊塔
19	角柱形		有縁 地蔵菩薩 無縁	凝灰岩	35×26×15	栗山字内埜 3131	万霊塔
20	丸彫	文久三 1864	弘法大師 郷中安全 文久三年 六月吉日	砂岩	30×26×19	新島字本郷 2967-1	大師塔

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	角柱形	天保九 1838	天保九戊戌年吉日 金比羅大権現 守才兵吉	砂岩	77 × 36 × 21	篠本字宮ノ下 487	日吉神社境内
2	櫛形	宝暦二 1752	宝暦二年壬申 稲荷大明神　稲荷宮本地 正月十八日	凝灰岩	52 × 35 × 15	新井字馬場 433-1	
3	駒形	文久三 1863	文久三癸四月吉日 足尾山大権現 願主兵右エ門	砂岩	29 × 15 × 12	宝米字表 1138	西徳寺裏他二基有り
4	櫛形	宝暦九 1759	宝暦九己卯年 聖徳太子真宮 七月二十二日	凝灰岩	75 × 28 × 26	芝崎字東 765-1	
5	角柱形	元文元 1737	元文元 聖徳太子 十月　大総村両国新田	凝灰岩	70 × 27 × 20	両国新田字敷成 98	
6	駒形	明治 二十四 1891	明治二十四年九月 稲荷大明神	砂岩	60 × 27 × 10	横芝字喜志台（東町） 1383	
7	駒形	天保五 1834	大天狗　天保五甲年正月 石尊大権現 小天狗	凝灰岩	52 × 25 × 15	木戸字十七割（白磯） 786	
8	笠角柱形	文化十二 1815	文化十二　五月 八大龍神宮	凝灰岩	100 × 36 × 30	屋形字南川岸 4952	
9	笠角柱形	宝暦十二 1762	海中横死精為 謡龍神宮 海河一切鯨節	凝灰岩	95 × 38 × 34	屋形字南川岸 4952	
10					× ×		

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	石祠	宝永五 1708	道祖神　二又村 土屋精右門 宝永五戊子六月吉日	砂岩	54 × 40 × 40	宝米字船戸台 1553	
2	石祠	享保十二 1727	享保十二年　願主　土屋庄エ門 再建　土屋引こ右門	凝灰岩	58 × 31 × 15	虫生字通辻 533	
3	石祠	宝暦五 1755	道祖神 宝暦五　吉日	砂岩	62 × 35 × 45	芝崎字海老川 1777-6	
4	石祠に駒形	享保六 1721	道祖神	凝灰岩	29 × 24 × 20	寺方字脇山 388-1	
5	石祠に駒形	享保十九 1734	享保十九 道祖神 十一月吉日	砂岩	60 × 27 × 19	横芝字鶴岡（上町） 540-1	
6	石祠	寛政九 1797	寛政九年十一月建立	砂岩	40 × 33 × 29	古川字南 177-2	
7	石祠	安永七 1778	道祖神	砂岩	68 × 38 × 29	谷中字堀ノ内 3130-2	
8	石祠	寛政十三 1801	道祖神 地蔵	凝灰岩	36 × 42 × 14	木戸字 二十二割 （長塚） 6905-1	
9	石祠	享保九 1724	奉造立　道祖神 享保九辛酉十二月吉日	砂岩	53 × 21 × 25	木戸字百割 9551-1	
10	石祠	天保九 1838	道祖神 天保九戊　年二月吉日 川嶋権左エ門	凝灰岩	59 × 28 × 19	木戸字 三十三割 （白磯） 1886-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
1	角柱		右　芝山成田東京 伊勢大神宮 左　八日市場　てふし	砂岩	96 × 38 × 23	二又字塙 1210	
2	角柱		横芝　東金 奉拝伊勢大神宮 芝山　成田　東京　大和　多古　佐原	凝灰岩	83 × 38 × 32	市野原字 花ノ木 420	
3	角柱		南　八日市場・旭・銚子道 北　山倉・香取・佐原道	凝灰岩	85 × 32 × 23	新井字馬場 703-1	
4	角柱	明治十三 1881	柴山成田道 奉拝禮　四国　西国　伊勢神宮 東京道	凝灰岩	93 × 39 × 38	新井字船戸 911-1	
5	角柱		此方　宝米　横芝 此方　東 此方　日吉　豊栄	凝灰岩	58 × 19 × 13	新井字船戸 911-1	
6	角柱		此方八日市場太田成田てふし 南無大師遍照金剛	凝灰岩	98 × 29 × 24	小田部字 道祖神 729-1	
7	角柱	明治 四十三 1910	横芝　長倉　道 天照皇大神 八日市場　銚子道	凝灰岩	105 × 30 × 30	芝崎字上ノ台 791	
8	角柱	明治十五 1882	此方成田道　五里 西国拝禮記念碑 此方田越東金道　三里 明治十五年三月十二日	凝灰岩	108 × 33 × 23	中台字宮台 1366-1	大宮神社前
9	角柱		天下泰平 西国三十三所 日月清明 東　さか田よこしば　道 八日市場 西　中台山室岩富 芝山小池田　道	凝灰岩	75 × 33 × 25	中台字島井戸 124-1	
10	角柱	天保十一 1840	西　志ばやま なりた さくら	凝灰岩	33 × 26 × 24	木戸台字谷部田 1818-1	

No.	形態	年代	銘文・内容・像容等	石材	法量	所在地	備考
11	角柱	明治二十八 1895	西 志ば山 なり田 東京道 北 牛尾 多古 佐原道 明治廿八年乙未廿五日 當村願主 東 さかたよこ志ば九十九里道	凝灰岩	90×27×23	木戸台字谷部田 1818-1	
12	角柱	明治四十四 1911	北 木戸 墓 牛尾船越多古道 明治四十四年三月建 東 坂田横芝道	安山岩	80×17×28	木戸台字谷部田 1818-1	
13	角柱	大正八 1919	東 横芝道 姥山 奉参拝 富士大山 三峰古峰 西 山室 八街道	安山岩	85×32×23	中台字桜前 1604	
14	角柱	大正四 1915	姥山 遠山 中台 此方 横芝 坂田 八田 蕪木 牛尾 金尾 八田	凝灰岩	47×23×14	長倉字宮ノ下 1786-3	
15	角柱	大正十三 1924	北町原多古道 伊勢高野山四国 宮嶋出雲東大寺 参拝記念 東長倉横芝道	凝灰岩	85×29×14	姥山字干場 64	
16	角柱	大正四 1915	大正四年長倉報徳会 此方坂田横芝大総村役場 此方八田松尾成東	安山岩	55×23×12	長倉字宮ノ下 1733	
17	角柱	安永九 1780	右太田 てふし 為 智源道本信士菩提 左 八日市場 小見川 かしま 善光寺 上堺村新島 東金道	凝灰岩	68×31×22	宮川字本郷 5476	
18	駒形	明治三十四 1901	奉拝禮記念碑 日光山 上堺村屋形 銚子道	凝灰岩	70×26×24	新島字上人塚 3051	
19	角柱	大正八 1919	此方 上堺村 大正八年 此方	凝灰岩	46×26×22	北清水字東里 6214-1	
20	角柱		右千神 湊道 東金千葉東京道 飯岡旭銚子道	凝灰岩	92×26×32	屋形字島田 575-1	

おわりに

以上、横芝光町の石仏について、写真と表とによって紹介しました。思えば町の石仏を調べてみようと始めたのが平成十五年からで、その当時は光町の生涯学習講座「ふるさと発見講座」からでした。光町内だけでも結構石仏があることが分かり、また、その中から石仏とは何だろう、墓石も含めるかと言った疑問も講座参加者からも出ました。平成十八年には横芝町と合併し、講座は研究会へと衣替えをしましたが、調査の範囲が倍に増え、調査は続けられ、さらに数が増えて行きました。一体何時になったら石仏調査が終わるのだろうか、まとまるのだろうか、時が過ぎ行くままに、会員の中には鬼籍に入られた方、高齢により退会された方もいて、そろそろけじめをつける時がきたと思いました。そうした中で、その成果を町民ギャラリーで発表する機会を得て、ここに出すことになりました。

多くの講座、研究会参加者の労苦を讃え、ここに成果を出せることを幸いと存じます。

最後に、石仏調査に参加した方々のお名前を記して、御礼の言葉といたします。

また、調査に当たっては、多くの方のご協力、ご教示を賜りました。記して感謝申し上げます。

講座・研究会参加者

市原勝、伊藤嘉映、鵜之澤正夫、大胡正寿、大胡博子、大木洋子、小椋幸枝、加藤松男、加藤スミ、小西正男、越川毅、椎名聰子、鈴木益郎、高梨キヨ、土屋敦、長嶋千代美、野村俊二、野村加津子、樋口広三、福元省蔵、福元アイ子、道澤道子、高杉忠義、林敦子、吉田茂、布施隆吉、布施久子、鈴木範子、穴澤治代、池田勝子、五木田英雄、實川恵美子、西山太郎、神保誠伊藤公男、高久昌子、吉岡元子、池田逸子、塩野谷正之

協力者（敬称略）

橋浦芳郎、久保田剛士、半田照善、塚本是順、大津頼政
宮内敏彦、五木田廣嚴
早川正司、鵜之沢康雄、福原貞夫、玉井ゆかり
久野一郎

参考文献

庚申懇話会編（一九七五）日本石仏事典　有山閣
岩沢利正（一九八八～一九九〇）くらしの中の歴史シリーズ　石造物シリーズⅠ～Ⅲ　松尾町
石岡市文化財関係資料編さん会（一九九六）石岡の石仏　石岡市教育委員会
日本石仏協会編（一九九七）石仏巡り入門　見方・愉しみ方　大法輪閣
房総石造文化財研究会編（一九九九）房総の石仏百選　たけしま出版
芝山町史編纂室編（二〇一三）芝山町史石造物編　芝山町

横芝光町民ギャラリー企画展図録
横芝光町の石仏
―野仏のささやき―
発行日　平成二十八年十月八日
編集・発行　横芝光町教育委員会
横芝光町歴史ロマン研究会
印刷　三陽メディア株式会社